

平成 21年 2月

富長岳史 学位論文審査要旨

主 査 井 上 幸 次
副主査 北 野 博 也
同 林 一 彦

主論文

マウスアレルギー性結膜炎におけるmonocyte chemoattractant protein(MCP)-1/C-C chemokine receptor-2(CCR2)の役割

(著者：富長岳史)

平成21年 米子医学雑誌 掲載予定

審査結果の要旨

本研究は、今まで知られていなかったMCP-1/CCR2経路のアレルギー性結膜炎における役割を、マウスアレルギー性結膜炎モデルを用いて、抗MCP-1抗体およびCCR2阻害剤投与による局所への好酸球浸潤抑制効果をみることによって検討したものである。その結果、抗MCP-1抗体およびCCR2阻害剤投与により、2型ヘルパーT細胞やB細胞に影響することなく、肥満細胞の脱顆粒を抑制し、局所への好酸球浸潤が有意に抑制されることを見出した。また、MCP-1/CCR2経路の肥満細胞脱顆粒に対する役割をin vitroの系でも確認している。本論文の内容は、MCP-1/CCR2経路のアレルギー性結膜炎における役割をはじめて解明したものであり、アレルギー性結膜炎の新しい治療法につながる可能性があり、明らかに学術水準を高めたものと認める。